

地震の揺れを低減する「WUTEC」で 注目を浴びる建築事務所



株式会社吳建築事務所

東京都千代田区富士見 2-12-16 フラワーハイホーム 402

URL : <http://wu-office.co.jp>



——吳社長は中国ご出身だそうですね。

はい。中国・広州出身で、建築関係の大学を卒業した後に、24歳で来日しました。日本に着いた当日、日本語が全く分からぬながら何とか成田空港から新宿までのバスに乗ることができましたが、料金が当時の中国では考えられないほどの金額だったんです。日本では移動するだけで途方もない大金が必要になる、どうやって生きていけばいいのだろうかと、本当に不安になりました。それでも飲食店で時給650円のアルバイトをしながら、何とか生活して勉強を重ね、『東京大学』の大学院に入学することができました。そして6年間建築に関して研究を重ね、卒業後は建築会社に就職。そちらで経験を積む中でチャンスが舞い込み、自分一人でもやっていけそうになってきたので、1997年、34歳の時に思い切って独立をした次第です。

地震大国日本において、様々な方法で耐震・制震が行われている。そんな中、『吳建築事務所』では「WUTEC」という画期的な制震アイテムを開発し、業界で注目を浴びている。本日はつまみ枝豆氏が同社を訪問し、吳社長にインタビュー。

——言葉が分からぬところから、よくそこまで頑張られましたね。ご立派です。

大学院卒業後は帰国することも考えましたが、当時の中国はまだ経済レベルが低かったので、日本で頑張ることにしたんです。現在、当社が売り出しているのは「WUTEC」という木造軸組工法用の耐震・制震壁です。地震のエネルギーを吸収して揺れを抑える装置でして、建物の揺れ幅を最大80%低減できます。耐震・制震装置は世の中にたくさんありますが、自分ならどんな物を作るだろうかと考えて、何年も研究し、開発したんですよ。特殊な工事や補強も必要ありませんし、シンプルな構造ですから製造過程での余計なコストをカットでき、比較的低価格で導入いただけます。国土交通大臣認定を取得し、ありがたいことにグッドデザイン賞もいただきました。

——それはすごい！開発には相当な努力が必要だったことでしょう。お仕事ではどんなことを大切にされていますか。

信用を守ること、何事にも一生懸命取り組むことです。また現状に甘んじることなく、常に新しいことにチャレンジしていく姿勢も大切ですね。変化が激しい世の中ですから、一つの技術だけで一生食べ続けていくことは無理だと考えて

るんです。時代の流れに対応していくなければなりません。現在「WUTEC」は木造住宅での使用に対応していますが、今後はもっと様々な建物に使用できるよう開発を続けていきます。また私は大学で教鞭を執ることがあり、中国では日本の建築技法を紹介する本も出版していますので、そうした活動にも力を入れて人の育成につなげたいですね。

(2018年3月取材)



吳社長は明るく話しておられましたが、来日から現在までに並々ならぬ苦労と努力があったと思います。まだまだ前進する心構えのようですので、そのバイタリティで今後も頑張って下さい！

